

介護保険の、き・ほ・ん

“介護保険”をご存知ですか。最近よく聞くけれども、詳しくはわからない、実際に利用している、等々あるかと思います。今回は介護保険の基本の部分を説明したいと思います。

介護保険っていつからスタートしたの？



介護保険保険制度は**平成12年4月**からスタートしており、今年で21年目に入ります。



介護保険制度ができた背景って？

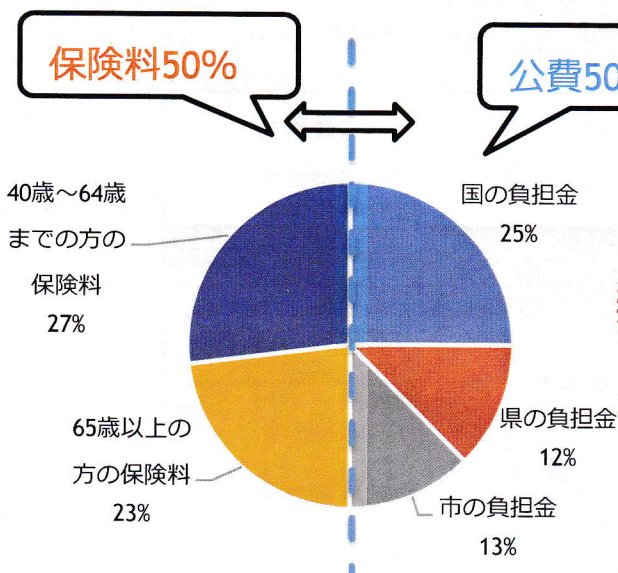
高齢者人口の増加に伴い、独居高齢者や高齢者夫婦のみの世帯の増加が見込まれることから高齢者介護を、国民の共同連帯の理念に基づき、**社会全体で支えるしくみ**として、介護保険制度が構築されました。 参考：「八訂 介護支援専門員基本テキスト

介護保険制度と介護支援」

介護保険の財源は？



介護サービスに要する自己負担以外の内、50%を**公費**、残りの50%を**保険料**が負担します。保険料の27%を40歳から64歳までの保険料、23%を65歳以上の方の保険料として負担するしくみです。（在宅サービスの場合）



介護サービスを利用した場合の自己負担は、所得によって1割～3割の負担が必要です。よって、9割～7割が左のグラフの通り、公費と保険料で負担されます。

参考：「熊本市 くまもとの介護保険」